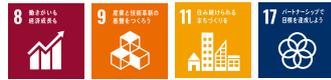


5-1-1

第5節 活力ある産業を育て、にぎわいや活気を生み出すまちをつくる（産業振興）

5-1 地域資源を活用したにぎわいのあるまちづくり



成田特有の観光資源の更なる活用を図る

4年後の
目指す姿

成田山新勝寺や成田空港を核とした広域観光が確立されており、国内外から多くの観光客が訪れています。

4年間の
取組方針

成田山新勝寺や歌舞伎などの伝統芸能をはじめとした本市の強みである観光資源を生かすとともに、新たな観光資源を発掘することにより各種事業を展開し、国内外に向けた観光PRなどを推進します。

まちづくり指標

指標名	単位	実績値			目標値
		平成26年度 (2014)	平成30年度 (2018)	令和4年度 (2022)	令和9年度 (2027)
観光入込客数 【重点指標】	万人	1,402	1,590	973	1,800
1人当たりの 市内観光消費額	円	—	—	8,727	9,000
成田市観光協会公式サイト 「FEEL成田」PV数	万回	—	200	196	220

現状と課題

通年型観光地として幅広く観光客の誘致を図るため、四季折々のイベントを開催するとともに、観光キャラクター「うなりくん」などを活用して、日本遺産に認定された成田山門前の町並みをはじめとする観光資源の積極的な情報発信を行っています。

成田山新勝寺や歌舞伎などの伝統芸能をはじめとする既存の観光資源と成田空港は本市の観光の核であり、今後もこの強みを生かした観光客誘致を展開していくとともに、新たな観光資源を発掘し持続可能な観光地づくりを推進していくことが求められています。

また、新型コロナウイルス感染症の行動制限の緩和に伴い国内外からの観光客は増加することが見込まれるため、旅行・観光消費動向などを的確に捉えながら、魅力ある観光資源の効果的かつ戦略的な情報発信を行う必要があります。



施策の方向

1 既存の観光資源の更なる活用を図ります。

成田山新勝寺を中心に日本遺産に認定された門前町の景観をはじめ、歌舞伎や地域に受け継がれてきた伝統芸能・祭りなどを活用した事業の展開や、観光キャラクター「うなりくん」を活用した観光PRを行い、成田の魅力を発信します。

主な事業 観光活性化事業、観光PR事業、成田ブランド推進戦略事業

2 新たな観光資源を発掘し観光客誘致に活用します。

体験型観光などニューツーリズムに関連する新たな観光資源の発掘に努めます。また、表参道や新生成田市場において賑わいの創出を図るとともに、国内外のLCC就航先での観光キャンペーンを行うなど、更なる観光客の誘致を図ります。

主な事業 観光に関する経費、表参道銀行跡地利活用事業、市場管理運営に関する経費

市民の役割・行政の役割

市民の役割

- 伝統芸能など地域文化の継承
- 市の観光情報の積極的な発信

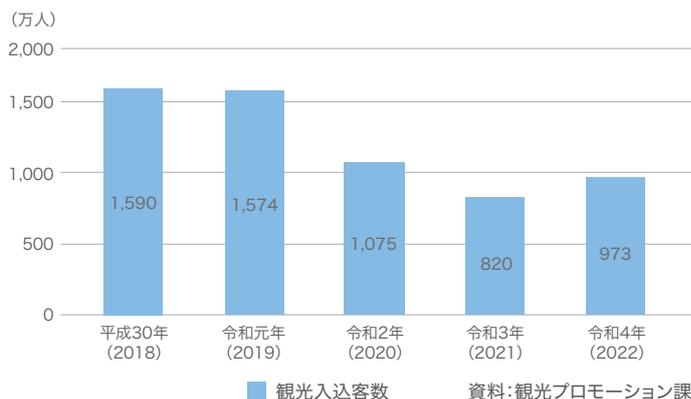
行政の役割

- 観光資源としての伝統芸能のPR
- 新たな観光資源の発掘と市外・国外へ向けた情報発信
- 成田山新勝寺や成田空港などとの連携

関連する個別計画

- 成田市観光振興基本計画

観光入込客数



5-1-2

第5節 活力ある産業を育て、にぎわいや活気を生み出すまちをつくる（産業振興）

5-1 地域資源を活用したにぎわいのあるまちづくり



魅力ある国際性豊かな観光地づくりを推進する

4年後の
目指す姿

充実した観光施設や本市の観光情報が適切に提供され、多くの外国人旅行者が満足できる国際性豊かな観光地が形成されています。

4年間の
取組方針

訪日外国人旅行者が気軽に訪れ、快適に過ごせる環境整備に努めます。さらに、本市を訪れるすべての方が安全で快適に過ごすことができるようハード・ソフト両面において受入れ体制を充実し、「来成」を促進します。

まちづくり指標

指標名	単位	実績値			目標値
		平成26年度 (2014)	平成30年度 (2018)	令和4年度 (2022)	令和9年度 (2027)
外国人宿泊者数 【重点指標】	万人	122	200	46	275
成田空港ビジット・ジャパン 案内所利用者数	万人	24	41	10	57

現状と課題

国内外の観光客が必要な観光情報を的確に入手でき、快適に過ごせるよう、観光案内所や観光館、空の駅さくら館などで観光情報の提供を行うとともに、観光サイトや観光情報アプリでの多言語による情報発信などを行っています。

また、新型コロナウイルス感染症の出入国制限の緩和に伴い訪日外国人旅行者の増加が見込まれることから、更なる観光客の獲得に向け、ボランティアガイドの育成や多言語対応での観光案内による「おもてなし」の体制づくりなどのソフト面の取組みや、宿泊施設バリアフリー化などのハード面の取組みを推進していく必要があります。

さらに、観光客の滞在促進に向け、空港の立地を生かしたトランジットツアーの実施やユニバーサルデザインに配慮した案内表示などの環境整備を行い、気軽に訪れることができる体制づくりを図っていくことが求められています。



施策の方向

1 観光客が快適に過ごせる環境を整備します。

ボランティアの人材の確保・育成、多言語での案内など、観光客が快適に過ごせるような環境整備を推進するとともに、効果的な観光情報の発信を行います。また、宿泊施設のバリアフリー化を推進するなど、受入れ環境整備に取り組みます。

主な事業 観光館管理運営事業、観光案内所運営事業、観光に関する経費

2 国際観光の振興を図ります。

成田空港を擁する立地を生かしたトランジットツアーの実施など、訪日外国人旅行者の「来成」を促進します。また、滞在中の外国人旅行者に観光情報の発信を行うとともに、案内看板の多言語対応を進めるなど、国際観光の振興を図ります。

主な事業 国際観光振興事業、観光に関する経費、観光PR事業

市民の役割・行政の役割

市民の役割

- ボランティアガイドへの参加
- おもてなしのまち成田の意識向上

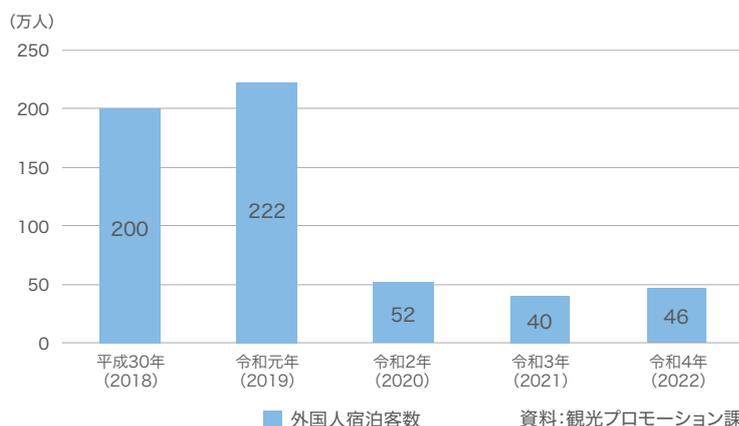
行政の役割

- 観光施設の整備
- 観光情報の提供、市外・国外へ向けた情報発信
- 訪日外国人旅行者の受入れ環境の整備

関連する個別計画

- 成田市観光振興基本計画

外国人宿泊客数



5-2-1

第5節 活力ある産業を育て、にぎわいや活気を生み出すまちをつくる（産業振興）

5-2 元気な農林水産業を育むまちづくり



豊かな農林水産資源を次世代に引き継ぐ

4年後の
目指す姿

生産性の高い農業経営や、農地や森林の多面的な機能が発揮された豊かな農地・農村が確保されています。

4年間の
取組方針

優良農地の保全や計画的な農業基盤の整備による農業生産性の向上に取り組むとともに、農地や森林の多面的な機能の維持など、農林水産資源の維持管理に対する取組みを継続的に支援するほか、都市農村交流などによる農村振興を図ります。

まちづくり指標

指標名	単位	実績値			目標値
		平成26年度 (2014)	平成30年度 (2018)	令和4年度 (2022)	令和9年度 (2027)
農道整備率	%	65.0	67.9	69.8	78.0
排水路整備率	%	81.1	82.3	83.1	85.0
森林保全管理実施面積 【重点指標】	ha	7.0	13.7	22.6	27.1
体験農業教室参加組数	組	76	90	94	120

現状と課題

豊かな農林水産資源を保ち、農業・農村の振興を図るため、森林や農地の多面的機能の維持などに取り組んでいます。

農業従事者の高齢化などに伴う遊休農地の拡大や、管理されない森林や里山が増加していることから、持続可能な農業・農村を支えるため、今後も優良農地の確保や遊休農地の解消、森林や里山の保全に努めるとともに、土地改良事業を含めた農道・排水路などの高い農業生産性を支える農業基盤の整備などが必要とされています。

さらに、森林や里山、農業などを産業としてだけでなく、観光や教育にも活用し、農業体験などを通じた都市と農村の交流活動や成田産農産物の地産地消の取組みを推進することで、農業・農村の振興を図っていく必要があります。



施策の方向

1 優良農地を保全し、生産基盤を整備します。

優良農地の積極的な確保・保全に努めるとともに、計画的に農道・排水路などの農業基盤の整備を進めるほか、老朽化した排水機場等の農業用施設の整備により、高い農業生産性の維持・向上に努めます。

主な事業 農道整備事業、排水路整備事業、排水機場管理事業

2 森林や農村環境を保全し、多面的機能の発揮を図ります。

農地・農村の有する国土の保全や水源かん養、自然環境の保全、良好な景観の形成など多面的な機能の発揮を目指し、農地や里山などの地域資源の適切な保全・維持管理及び環境保全型農業を支援します。

主な事業 森林保全事業、農地・水保全管理事業、環境保全型農業推進事業

3 都市と農村の交流活動を推進します。

森林や農業・農村を産業としてだけでなく、観光や教育にも活用するとともに、農業体験などの都市と農村の交流活動や農産物直売所などにおける地産地消の取組みを推進し、農業・農村の振興を図ります。

主な事業 都市・農村交流促進事業、農産物消費宣伝事業、食育推進事業

市民の役割・行政の役割

市民の役割

- 自ら所有する農地や地域の農業資源の維持管理
- 森林整備や里山保全活動の実施
- 体験農業教室への参加

行政の役割

- 計画的な農道・排水路などの農業基盤の整備や、老朽化した排水機場等の農業用施設の整備
- 森林や農地等の保全活動への支援
- 都市と農村の交流活動支援

関連する個別計画

- 成田市森林整備計画、成田市農業振興地域整備計画、成田市食育推進計画



5-2-2

第5節 活力ある産業を育て、にぎわいや活気を生み出すまちをつくる（産業振興）

5-2 元気に農林水産業を育むまちづくり



安定した農業経営を支援する

4年後の
目指す姿

認定農業者などの地域の中核的な農業者に農地の集積が進み、効率的な農業経営が実践されています。

4年間の
取組方針

農業者等による協議を踏まえ、地域の農業の在り方や農地利用の姿を明確化した地域計画を策定し、農業センターなどを通して農地の集積・集約化の促進を図り、地域農業の持続的発展に向け、関係機関が一体となって取り組みます。また、経営の効率化を目指す取組みや次世代の農業経営者の確保を支援し、農業振興を図ります。

まちづくり指標

指標名	単位	実績値			目標値
		平成26年度 (2014)	平成30年度 (2018)	令和4年度 (2022)	令和9年度 (2027)
担い手農家への 農地集積率	%	35.8	33.6	40.7	50.0
新規就農者数 (H28～延べ数)	人	—	36	60	135

現状と課題

効率的で安定した農業経営を支援するため、担い手農家や新規就農者の確保・育成、農地の集積・集約化の促進などに取り組んでいます。

今後、少子高齢化がさらに進展することが見込まれており、農業に従事する担い手が不足し、遊休農地が増加する恐れがあるなど、本市の農業を取り巻く環境は大きく変化しています。

このような中、認定農業者などの担い手や、次代の農業を担う新規就農者の確保・育成を図るとともに、6次産業化などによる農業所得の向上やデジタル技術を活用した生産性の高いスマート農業の実現、新生成田市場の活用による成田産農産物の販路拡大に取り組み、市内農業者の経営の安定化を図る必要があります。



施策の方向

1 地域農業の核となる担い手を育成します。

経営改善相談などを実施し、認定農業者などの担い手や、次代の農業を担う新規就農者の確保・育成を図ります。また、新生成田市場の活用による成田産農産物の販路拡大に取り組み、農業所得の向上を図ります。

主な事業 農業経営強化対策推進事業、新規就農者支援事業、輸出促進事業

2 農地の利用集積を促進します。

持続可能な力強い農業を実現するため、農地の利用集積や6次産業化を図るとともに、スマート農業などを活用することにより、効率的な経営ができるよう支援します。

主な事業 農地集積・集約化対策事業、集団営農用機械施設整備事業、園芸振興対策推進事業

3 地域計画を策定し、農地の利用促進を図ります。

農業者等による協議を踏まえ、地域の農業の在り方や農地利用の姿を明確化した地域計画を策定し、計画を確実に実践することで、農用地の効率的かつ総合的な利用の促進を図ります。

主な事業 農業経営強化対策推進事業、農業センター活動支援事業

市民の役割・行政の役割

市民の役割

- 地域の農業の未来についての協議
- 遊休農地の発生防止

行政の役割

- 認定農業者などの地域農業の担い手支援
- 新規就農者の幅広い確保・育成
- 地域農業の在り方や農地利用の姿を明確化した地域計画の策定

関連する個別計画

- 成田市水田収益力強化ビジョン、成田市農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想



5-3-1

第5節 活力ある産業を育て、にぎわいや活気を生み出すまちをつくる（産業振興）

5-3 商工業が活力をもたらすまちづくり



産業の振興と雇用の創出を図る

4年後の
目指す姿

企業が進出・操業しやすい環境をつくり、事業者の活動を支援することで市内の経済が活性化し、まちににぎわいが創出されています。

4年間の
取組方針

中小企業の経営の安定化と強化を図るとともに、創業支援や企業誘致の促進を行い、持続的かつ安定的な地域経済の活性化や雇用の創出を図ります。また、立地特性を生かした新生成田市場の輸出拠点化の取組みを推進します。

まちづくり指標

指標名	単位	実績値			目標値
		平成26年度 (2014)	平成30年度 (2018)	令和4年度 (2022)	令和9年度 (2027)
中小企業資金 融資件数	件	340	187	155	360
企業立地奨励制度 適用事業所数 (H28～延べ件数) 【重点指標】	件	—	1	5	15
新規起業件数	件	12	24	23	34

現状と課題

地域経済における企業活動の活性化を図るため、中小企業の経営や商店街の取組みに対する支援、企業の誘致や既存企業の事業拡大の支援などに取り組んでいます。

成田空港の更なる機能強化や広域道路ネットワークの整備が着実に進展しており、空港周辺地域への新たな企業の進出や雇用の場の拡大などが見込まれることから、地域の特性を生かした企業誘致の更なる促進が求められます。

また、新生成田市場において、インバウンド需要の獲得と消費拡大に結び付く新たな観光拠点及び日本の食文化を世界に発信する情報発信拠点としての役割を担う集客施設棟については、できるだけ早期に整備するよう取り組んでいく必要があります。



施策の方向

1 地域を活性化する商工団体の取組みを支援します。

成田商工会議所や成田市東商工会の中小企業に対する経営相談や経営計画等の作成支援などによる経営支援、経営改善などの取組みを支援することにより、企業の経営基盤強化や商店街のにぎわい創出を推進し、市内の商工業の振興を図ります。

主な事業 商工団体支援事業

2 地域経済を支える中小企業の経営を支援します。

事業活動の活性化や経営基盤の強化に向けて、商工団体などと連携し、支援施策の情報提供を行います。また、中小企業融資制度の利用促進や同制度利用者に対する利子補給補助金を交付し、経営の安定化を図ります。

主な事業 中小企業資金融資事業、中小企業若手人材確保対策事業

3 まちのにぎわいの向上と商店会の振興を図ります。

商店会等が行う活性化事業等に支援することにより、まちのにぎわいの向上と商店会の振興を図ります。また、JR成田駅西口駅前にある市有地を活用し、魅力ある施設を新たに整備するとともに、駅周辺のバリアフリー化を推進します。

主な事業 商店街振興支援事業、商店街共同施設設置等支援事業、JR成田駅西口市有地活用推進事業

4 新たな産業育成と工業振興・企業誘致を図ります。

企業立地促進奨励金や国家戦略特区制度による工場新增設に係る特例の活用を通じ、企業が進出しやすい環境づくりと既存企業の事業拡大を支援し、企業誘致及び雇用創出を図ります。

主な事業 工業振興支援事業、企業立地促進事業、産業集積推進事業

5 卸売市場の機能強化を図ります。

周辺の広域交通ネットワークを活用した産地との連携強化による新生成田市場の輸出拠点化の取組みを推進するとともに、日本の食文化を国内外の観光客などが楽しめる集客施設棟の整備を推進し、食による賑わいの創出を図ります。

主な事業 市場管理運営に関する経費、輸出促進事業

市民の役割・行政の役割

市民の役割

- 産業振興への理解と協力
- 商工団体などの主催イベントへの積極的な参加
- 新生成田市場への理解、関心

行政の役割

- 中小企業の経営支援
- 企業立地や産業集積の推進
- 商工業活動の活性化支援

関連する個別計画

- 成田市商工業振興計画、成田市公設地方卸売市場経営展望



5-3-2

第5節 活力ある産業を育て、にぎわいや活気を生み出すまちをつくる（産業振興）

5-3 商工業が活力をもたらすまちづくり



市民が快適に働くことのできる労働環境を整える

4年後の
目指す姿

企業等と連携し、働く意欲のある人の就業機会の拡大や就業技術の習得支援、労働環境に関する施策や制度、就業情報を迅速に提供できる体制が整備されています。

4年間の
取組方針

求職者に対する就業機会の拡大と就業条件の向上のために必要な知識・技術の習得支援を促進します。また、関係機関と連携を図りながら、就業情報を迅速に提供するとともに、多様な人材が就業しやすい労働環境の整備を支援します。

まちづくり指標

指標名	単位	実績値			目標値
		平成26年度 (2014)	平成30年度 (2018)	令和4年度 (2022)	令和9年度 (2027)
資格取得講習会受講者の 資格取得率	%	95	89	100	100
求人情報システムによる 雇用創出数 (H28～延べ数)	人	-	38	49	240
マザーズコーナー利用者の 就職件数 (H28～延べ数)	件	-	468	997	1,560

現状と課題

市民が快適に働き続けることができる労働環境の整備に向けて、ハローワーク成田をはじめとする関係機関との連携により、就業機会の拡大や就業技術の習得支援、働きやすい職場づくりの推進などに取り組んでいます。

少子高齢化に伴い生産年齢人口が減少していく中、医療や介護などにおける様々な分野において人材不足がさらに深刻化していく現状を踏まえた人材確保と育成が急務となっています。また、女性や高齢者、障がい者など、働く意欲のある人がそれぞれの能力を生かして働くことのできる労働環境づくりが求められています。

さらに、育児・子育てや介護等との両立など、多様な働き方を選択できることにより、ワーク・ライフ・バランスを実現することで、成長と分配の好循環を構築し、働く人一人ひとりがより良い将来の展望を持てるようにすることを目指します。



施策の方向

1 働きたい人が働くことのできる環境をつくります。

求職者の就業機会の拡大と就業条件の向上を図るための講習会を開催するとともに、インターネットを活用した雇用就業支援システムを運用し、求人情報を提供します。また、高齢者や障がい者などを雇用した事業主に対する支援を行います。

主な事業 雇用促進奨励金交付事業、就業技術援助事業、中小企業退職金共済掛金補助事業

2 労働者が安心して働くことのできる環境をつくります。

働く方々が個々の事情に応じた多様で柔軟な働き方を自分で選択できるようにする「働き方改革」の実現に向けて、労働施策や制度の周知・啓発を行います。また、事業者や労働者の福利厚生や研修の場として施設の提供を行います。

主な事業 永年勤続従業員表彰推進事業、勤労会館管理事業

市民の役割・行政の役割

市民の役割

- 就労に向けた自らの能力開発
- 企業における多様で柔軟な働き方の促進

行政の役割

- 就労支援に向けた取組みの促進
- 誰もが差別なく働き続けられる職場環境づくりの支援
- 周知・啓発による情報提供

関連する個別計画

- 成田市商工業振興計画

